

課題意識をもって取り組むこと

先日、今年度のクラブ活動（小学部）と部活動（中学部）、そして児童生徒会・委員会活動が最終回を迎えました。

クラブ活動・部活動では、児童生徒自身が主体的に話し合い、めあてや目標を決めて、毎回の活動に取り組むことができました。お互いに話し合ったり、自分自身で振り返りを行ったりすることで、新たな目標や課題を見つけることができました。回数に限りのある活動だからこそ、意味のある活動にしようと取り組んでいる姿や次年度に向けてどのようなことができるか一人一人が真剣に考えている姿が印象的でした。

委員会活動では、1年間の取組を振り返り、反省を通して、それぞれの成果と課題を見つけることができました。小学部高学年と中学部の児童生徒が積極的に意見を出し合い、全校児童生徒が一丸となって取り組めるように活動を進めてきました。今年度新しく取り入れた活動や昨年度から引継ぎ、より洗練された活動もありました。次年度では一層、各活動の目的や課題解決を意識した取組を行い、学校を引っ張るリーダーとして大きく成長したいと考えています。



小6を送る会、中1と語る会

小学部では、5年生が中心となり、3月に卒業する6年生に今までの感謝の気持ちを込めた集会を開きました。学校生活のいろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるべく、各学年が工夫を凝らした発表を行いました。

中学部では、中学部1年生が4月に中学生になる小学部6年生に向けて、中学校について紹介する機会を設けました。学習や部活動等、分野ごとにブースを作り、興味のある分野に6年生が自由に動けるように企画し、見やすいスライドや実体験をもとに、分かりやすく説明しました。6年生は中学生の説明を真剣に聞いており、4月からの新しい学校生活に役立てようとする姿勢が伝わってきました。

